

令和6年度

# 田園自然再生活動の集い

～ 自然と生きる ～



田園自然から得られる恩恵を  
後世に渡って享受し続けるために、  
自然災害や野生鳥獣などのリスクと向き合いながら  
自然の中での営みや暮らしの在り方、  
そして農業の在り方について改めて見つめ直し、  
これからの田園自然再生活動  
についてのヒントを探ります。

参加無料

CPD 申請中

2024年12月11日(水)13:00～16:45 (受付開始:12:30)

会場：国立科学博物館 日本館「講堂」(WEB 配信併用)  
(東京都台東区上野公園 7-20)

主催

(一社) 地域環境資源センター  
田園自然再生活動協議会

後援

農林水産省、環境省  
全国農村振興技術連盟、(公社) 農業農村工学会、農村計画学会  
棚田学会、(一財) 日本グラウンドワーク協会

申込

(一社) 地域環境資源センター  
田園自然再生活動事務局

TEL : 03-5425-2461  
E-mail : denen-saisei@jarus.or.jp  
URL : <https://www.jarus.or.jp/>

# プログラム



## 令和6年度 田園自然再生活動の集い

13:00 開 会

13:00 主催者挨拶 中村 桂子 (田園自然再生活動協議会 会長)

来賓挨拶 緒方 和之 (農林水産省農村振興局整備部 部長)

来賓挨拶 番匠 克二 (環境省自然環境局自然環境計画課 課長)

13:20 講 演 荘林 幹太郎 (総合地球環境学研究所 特任教授)  
『私たち生きものの中のわたし』をどのように政策に反映させるか?  
～昨年度の基調講演を踏まえての一政策研究者の反省～

14:00 講 演 山端 直人 (兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 教授)  
「これからの地域社会のための野生動物と人の関係」

14:40 — <休 憩> —

14:50 活動発表 ○遠藤 圭二郎 (岩手県・照井土地改良区)

○平峰 拓郎 (兵庫県・株式会社坪口農事未来研究所)

15:25 パネルディスカッション

コーディネーター：荘林 幹太郎 (総合地球環境学研究所 特任教授)

コメンテーター：中村 桂子 (JT 生命誌研究館 名誉館長)

山端 直人 (兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 教授)

林田 直樹 (地域環境資源センター 理事長)

パネリスト：遠藤 圭二郎 (照井土地改良区)

平峰 拓郎 (株式会社坪口農事未来研究所)

16:40 閉会挨拶

16:45 閉 会



国立科学博物館

# 出演者紹介



中村 桂子

## JT 生命誌研究館 名誉館長、田園自然再生活動協議会 会長

東京都出身。理学博士。生命誌の提唱者。

三菱化成生命科学研究所、早稲田大学人間科学部教授、大阪大学連携大学院教授などを歴任。

生命誌を提唱し 1993 年 JT 生命誌研究館を創設して副館長。2002 年館長、2020 年より現職。

2003 年～2011 年 (社) 農村環境整備センター (現 地域環境資源センター) 理事長。

著書：『生命科学から生命誌へ』(小学館)、『ゲノムが語る生命—新しい知の創出』(集英社新書)、  
『科学者が人間であること』(岩波新書)、『老いを愛づる 生命誌からのメッセージ』(中公新書ラクレ)、  
『人類はどこで間違えたのか—土とヒトの生命誌』(中公新書ラクレ) 他多数。



荘林 幹太郎

## 総合地球環境学研究所 特任教授 (プログラムディレクター)

兵庫県出身。専門は農業政策、農業貿易と環境。

1982 年農林水産省入省、世界銀行南アジア 3 局、農林水産省構造改善局、OECD 食料農業水産局、  
滋賀県農政水産部、農林水産省農村振興局等、2007 年学習院女子大学教授、2017 年学習院女子大学  
副学長、2023 年 4 月より現職。

著書：『日本の農業環境政策—持続的な美しい農業・農村を目指して』(農林統計協会)、『世界  
の農業環境政策—先進諸国の実態と分析枠組みの提案』(農林統計協会)、『農業直接支払いの概  
念と政策設計—我が国農政の目的に応じた直接支払い政策の確立に向けて』(農林統計協会) 他。



山端 直人

## 兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 教授

三重県出身。専門は農村計画学、野生動物の被害管理。

1993 年農林水産省入省、1995 年三重県庁入庁。農業改良普及センター、本庁を経て、2007 年より  
三重県農業研究所で集落主体の獣害対策の研究に従事。2017 年より現職。

地域政策や農村計画の研究を基礎に、獣害を軽減できる社会モデルの育成や、地域が主体的に獣害  
対策を持続できる仕組みづくりを研究する。参加型アクションリサーチの手法を用いた現場実証に  
より、獣害という課題を解決できる地域づくりを進める。

著書：『これからの地域社会のための獣害対策』(農林統計協会)、『野生動物管理学』(培風館) 他。



林田 直樹

## (一社) 地域環境資源センター 理事長

福井県出身。専門は農業工学。

1977 年農林水産省入省 (構造改善局設計課)、在フィリピン日本国大使館、富山県農地林務部、中  
国四国農政局建設部設計課、関東農政局次長、大臣官房審議官 (国際)、農村振興局次長を経て 2013  
年農水省退官。全国農村振興技術連盟委員長、(公社) 農業農村工学会副会長、日本 I C I D 協会会  
長などを歴任し、2022 年より現職。

農業・農村振興の発展に尽力し、農業土木技術者の育成にも努めている。

## パネリスト



### 照井土地改良区

(岩手県一関市)

工務課長兼換地課長

遠藤 圭二郎



### (株) 坪口農事未来研究所

(兵庫県豊岡市)

代表取締役 平峰 英子

取締役 平峰 拓郎